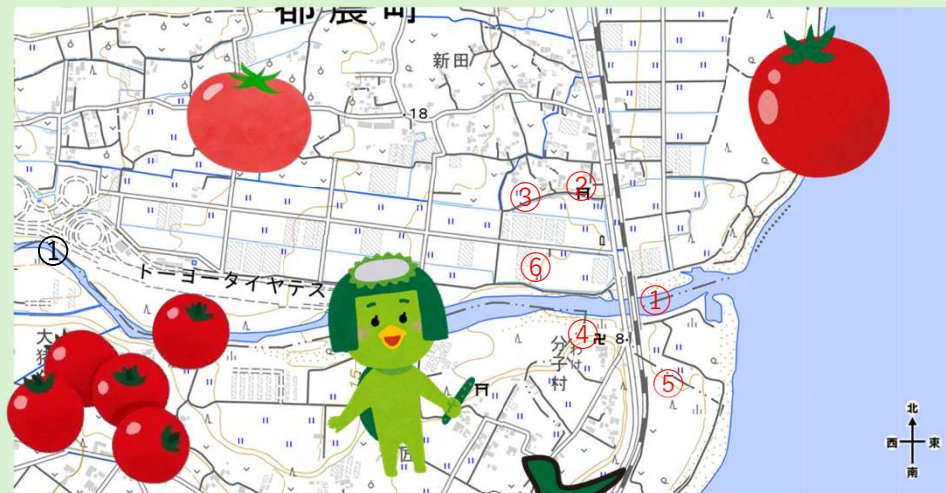


14班 都農町地域資源マップ

平岡侑敏 林健太郎 竹田大悟
美藤由貴 温水華凜



①名貫川 なぬきがわ

尾鈴川を水源とし、日向灘に一気に流れ込む急流河川。上流部には深い谷が刻まれており、水質が極めて良好。流域には大小30余りの美しい滝が点在。アユやヤマメ、ウナギ多種多様な淡水生物が豊富に生息。

②八坂神社

地域の人々に古くから信仰されている神社。いつ建てられたのか今回のフィールドワークで特定することはできなかった。境内には人はおらずまた、扉が閉まってお賽銭やお参りはできないようになっていた。建物の老朽化が少し心配に感じた。

③牛舎

肉牛を育てている老夫婦に出会った。成牛2頭、子牛2頭を飼育しているが、高齢によって飼育し続けることが難しくなり売り渡すことが決まったそう。2010年に都農町内で発生した口蹄疫では、彼らの飼育する牛を含め多くの牛や豚が殺処分された。また、都農町は全国の中でも畜産が盛んで、「宮崎牛」をはじめ、ワインを混ぜた飼料で育てられた「つのワイン牛」、赤身がおいしい「都農牛」など数々のブランド牛が生産・販売されている。

④徳泉寺

道元が祖である曹洞宗のお寺。坂の上にあるお寺。河童で有名である。本殿に向かう階段の前に河童塚と呼ばれる河童の石碑がある。都農町には河童まつわる伝説が残っている。お寺の敷地内には立派な仏像がある。

⑤太陽光パネル

あったので手入れが必要だと感じた。・線路沿いには多くの太陽光パネルが設置してあったが、周辺は草や木に覆われていた。宮崎は日照時間が長いので大きな範囲での太陽光発電が可能である。しかし、草や木が邪魔をして日陰になっている場所もあったので手入れが必要だと感じた。

⑥ミニトマトの栽培

この区域のほとんどの農家の方はミニトマトの栽培を10月末から6月に行っている。トマトの栽培期間以外は米を育てたりビニールハウスの整備を行っている。育てたトマトは原則JAに出荷している。また、トマトを加工して透明なトマトジュースを製造している。このトマトジュースにはごり酒を利用している。NHK総合では2026年に「新プロジェクトX〜挑戦者たち〜」で「ななつ星in九州」を取り上げ、その際に都農町の透明なトマトジュースが提供された。

Column

都農町の魅力は人の温かさにある？！

都農町の魅力は、自然や特産品だけではなく、人の温かさにある。地域の人々はお互いを支えあい、訪れた人にも親切に接してくれる。このような人と人とのつながりが都農町をより魅力的なものにしているのではないかな。人の温かさこそが、都農町の大きな魅力である。

感想

私たちは今回の実習で都農町の新田地区と分子村でフィールドワークを行った。都農町を訪れるのは今回が初めてで、みんな不安な気持ちがあったが、実際に訪れてみると自然豊かで海もきれいでとてもいい場所だった。下調べで訪れる場所を決めていたためスムーズに実習を行うことができた。また、たくさんの方々にインタビューを行うことで、地域の方々が自然環境を守りながら暮らしている姿勢を知り、地域の魅力は景観だけでなく“人”によって支えられていることを実感した。今回のフィールドワークを通して、地域を理解するためには実際に現地へ足を運び、人の声を聞くことが不可欠だと気づかせてくれる貴重な経験となった。

